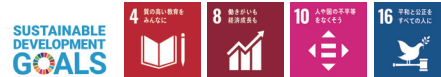


マテリアリティへの取り組み

ガバナンス（組織統治）



「公正で健全な企業活動」

コンプライアンスの徹底やリスクマネジメント活動の推進強化により、リスクの回避・抑制や不祥事の未然防止などに取り組み、開かれた透明性の高い経営を継続することで、ステークホルダーのベストパートナーであり続けます。

取締役副社長、管理本部長 小山 幸弘

コーポレートガバナンスは事業活動の要と言えます。公正で透明な経営を行うために、企業はガバナンスの仕組みを改善し続ける必要があります。ガバナンス組織は、変化し続けるさまざまなグローバルリスク・機会を中長期的な視点で予測し、対策を講じていくことが求められます。その為には、ステークホルダーからの幅広い期待に耳を傾けることが重要です。

ガバナンスの強化は、企業にとって重要な課題のひとつであり、さまざまなステークホルダーから信頼される企業となる為には、透明性や規律の確保がなされるコーポレートガバナンス体制の構築が必要となります。当社はこれまでも、内部統制・リスク管理体制強化のモニタリング、指名・報酬委員会と取締役会の連携強化など、ガバナンスの強化に向けた取り組みを実施してきました。

今後も取締役会の独立性やダイバーシティの向上により取締役会の更なる実効性強化を図るなど、ガバナンスの強化に取り組んでまいります。

主要 K P I

（最適なガバナンス体制の維持・構築）	
定量面	・改訂コーポレートガバナンスコードの各原則の遵守 ⇨ 各原則の遵守率 : 100%
	・重点リスク及び指摘に対する是正実施の徹底 ⇨ 重大な不備 : 0件 軽微な不備の是正 : 100%
	・取締役会及び監査機能に対する実効性評価の実施と評価結果に基づく改善施策への取り組みによる機能強化の実現
定性面	

コーポレートガバナンスコードの遵守に向けて

コーポレートガバナンスコードの全項目コンプライアに向け、最低年1回のモニタリングを行い、当社のコーポレートガバナンスコード遵守状況を確認しております。

ガバナンス体制の強化のために

コーポレートガバナンス体制は、監査役会設置会社に指名委員会・報酬委員会を設置するマネジメント機能とモニタリング機能を兼ね備えたハイブリッド型の機関設計としております。当社は、重要な業務執行の決定を取締役会で行っており、社外取締役や社外監査役の知見を活用することで、質の高い意思決定を行うことを重視しており、取締役会の監督機能を強化するために設置している指名・報酬委員会については、社外委員を過半数とし、委員長も社外委員から選出しております。

当社は、これまでもコーポレートガバナンス強化に向けて取組みを進めてまいりました。現時点では、マネジメント機能を重視しつつも、モニタリング機能も確保できる現在の体制が最適と判断していますが、モニタリング機能を強化する観点から、機関設計や社外取締役比率、外国人取締役の登用や女性比率の向上など最適な形を継続的に検討しています。なお、当社の取締役・監査役が有している能力・経験は以下の通りのスキル・マトリクスと考えております。それぞれの専門性と豊富な経験など多様性を確保した取締役会のメンバー構成により、さまざまなビジネス環境の変化に対応できる体制を取ってまいります。

役員スキルマトリクス

役職名	区分	氏名	企業経営	生産技術製造	営業・マーケティング	財務会計	法務	IT・DX	グローバル経験	人事労務
取締役	社内	木村 幸夫	○	○	○				○	
		成瀬 茂広	○	○			○	○		
		木下 毅司	○	○	○					
		小山 幸弘	○			○	○			○
		飯永 晃一	○		○			○		○
		木村 忠昭	○			○	○	○		
	社外	平野 善得	○			○	○			
		江山 純	○	○					○	
		鈴木 シュヴァイグート 絵里子	○			○				○
監査役	社内	吉村 真	○				○		○	
		堀口 久					○			
	社外	小野田 誓				○				
		村田 知英子				○				

項目	概要
企業経営	持続的な成長戦略の実現には、豊富なマネジメント経験・経営実績が必要である。
生産技術製造	安全・安心・コンプライアンスの徹底は企業存続の生命線であり、それらを徹底し、絶え間ない改善を行うためには、生産品質・生産技術分野での確かな知識・経験が必要である。
営業・マーケティング	持続的な成長には、お客様のニーズを把握する必要がある、それらを推進する確かな知識・経験が必要である。
財務会計	正確な財務報告はもちろん、強固な財務基盤を構築し、持続的な企業価値向上に向けた成長投資の推進と株主還元強化を実現する財務戦略の策定には、財務・会計分野における確かな知識・経験が必要である。
法務	適切なガバナンス体制の確立は、持続的な企業価値向上の基盤であり、取締役会における経営監督の実効性向上のためにも、コーポレートガバナンスやリスク管理・コンプライアンス分野で確かな知識・経験が必要である。
IT・DX	今後の企業成長には、IT・DXによる企業革新は必要不可欠であり、更なる発展を遂げるためこれらの知識・経験が必要である。
グローバル経験	国際事業の成長戦略の策定及び経営監督のためには、海外での事業マネジメント経験や海外の生活文化・事業環境等の豊富な知識・経験が必要である。
人事労務	当社の事業を展開する上で、従業員一人ひとりがその能力を最大限に発揮できる人材戦略の策定が必要であり、ダイバーシティの推進を含む人材開発分野での確かな知識・経験が必要である。

コーポレートガバナンス

取締役 及び 監査役

〔2023年7月1日現在〕

代表取締役会長
木村 幸夫



代表取締役社長
成瀬 茂広



取締役副社長
木下 毅司



取締役副社長
小山 幸弘



常務取締役
飯永 晃一



取締役
木村 忠昭



社外取締役
平野 善得



社外取締役
江山 純



社外取締役
鈴木 シカイク 絵里子



常勤監査役
吉村 真



社外監査役
堀口 久



社外監査役
小野田 誓



社外監査役
村田 知英子



地位	氏名	担当及び重要な兼務の状況
代表取締役会長	木村 幸夫	
代表取締役社長	成瀬 茂広	
取締役副社長	木下 毅司	グループ 生産・安全・品質担当、LS 事業本部長、SQ 推進本部長、IS 事業部担当 (※2)
取締役副社長	小山 幸弘	管理本部長、管理本部 企画・管理推進本部長、管理本部 経営企画部担当、女性活躍推進担当、コミュニティ企業年金基金理事長、KIMURA,INC.CEO
常務取締役	飯永 晃一	TCS 事業本部長、TCS 事業本部 TCS 総括部担当 (※2)
取締役	木村 忠昭	株式会社 アドライト 代表取締役
社外取締役 (※1)	平野 善得	公認会計士
社外取締役 (※1)	江山 純	豊田通商株式会社 グローバル部品・ロジスティクス本部 CEO
社外取締役 (※1)	鈴木 <small>シカイク</small> 絵里子	株式会社 Kind Capital 代表取締役
常勤監査役	吉村 真	
社外監査役 (※1)	堀口 久	弁護士
社外監査役 (※1)	小野田 誓	公認会計士、税理士
社外監査役 (※1)	村田 知英子	税理士

(※1) 独立役員

(※2) LS : ロジスティクス サービス SQ : セーフティー&クオリティー (安全・品質)
IS : インフォメーションサービス TCS : トータルカー サービス

コーポレートガバナンス体制

迅速かつ正確な情報の把握と意思決定により、企業（グループ）価値、株主価値及び顧客価値を最大化することを重要な経営目標としております。当社におきましては、改正上場規則の施行によるコーポレートガバナンス・コードの適用に伴い、各原則に基づく開示を行うと共に、更なる取り組みの充実に向けた検討を進めております。

取締役会

定例取締役会を毎月1回開催するほか、必要に応じて随時開催し、経営戦略の意思決定と職務遂行の監督・監視を行なっております。

社外取締役

取締役9名中3名を社外取締役とし、経営に対する高い見識で当社の業務執行を監視しております。社外取締役を選任することにより、取締役会の透明性の確保、取締役相互の経営監視とコンプライアンスの徹底に努めております。

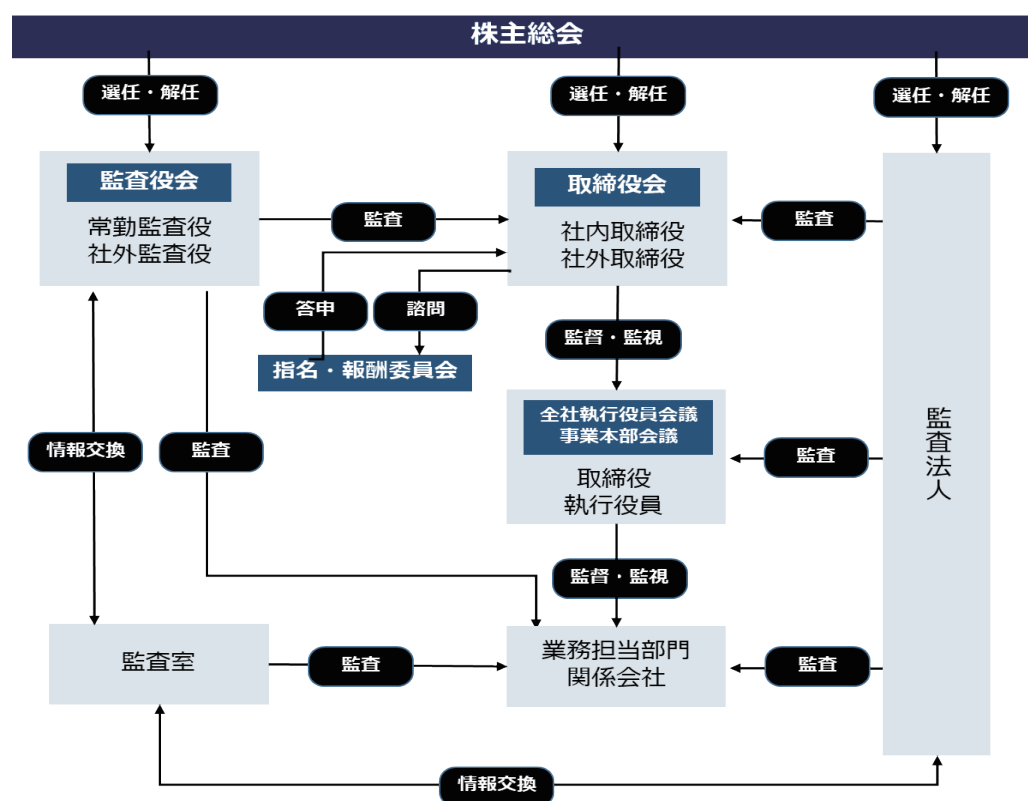
取締役会

定例取締役会を毎月1回開催するほか、必要に応じて随時開催し、経営戦略の意思決定と職務遂行の監督・監視を行なっております。

監査役会、監査室、監査法人

監査役には、当社出身の常勤監査役1名に加え3名の社外監査役を選任し、職務執行の監督を徹底するとともに監査の充実を図っております。監査役、監査室に監査法人を加えた三様監査会を定期的開催し、各立場より監査状況の情報交換を行うことにより、コーポレートガバナンスの実効性が向上するよう努めております。

コーポレートガバナンス体制



取締役会の実効性向上のために

取締役会の更なる機能発揮に向け、毎年1回取締役会の実効性評価を実施しています。具体的には、取締役会に参加している全員の意見を反映した評価とすべく、取締役および監査役の全員を対象に、取締役会の運営や機能発揮の状況に関するアンケートを行い、その結果を取締役に報告しています。

リスク管理体制の確保のために

「リスク管理規程」により、リスク管理委員会を定期的開催し、各事業または部門毎にリスクの調査、評価、対策の策定及び対策状況の確認等を実施し、リスクの把握及び管理を行っております。また、BCP（事業継続計画）の整備や周知徹底を行うとともに、安否確認訓練、避難訓練や衛星携帯電話などを用いた通信訓練等のBCPに関する訓練を実施しております。

また、昨今のサイバーセキュリティ事件の発生状況に鑑み、社内ルールの整備、社員の啓蒙、各種防御システムの整備等、セキュリティ強化のための対策をこれまで以上に強力に推進してまいります。

コンプライアンス・リスクマネジメント

コンプライアンス

内部統制システム



内部統制活動

当社グループは、経営理念、企業倫理規範、コーポレートガバナンスを実践するため、「内部統制システムの基本方針」を策定したうえで、「業務の有効性と効率性の向上」「財務報告の信頼性の確保」「事業活動に関わる法令等の遵守」「資産の保全」を主たる目的として、内部統制システムを整備・運用しております。

内部監査活動

当社グループでは、連結ベースで子会社及び業務プロセスのリスク評価を行い、網羅性確保とリスク低減を考慮したうえで対象を選定し、財務報告の信頼性確保、業務の有効性と効率性の向上、企業活動に関連する法令・社内ルール等の遵守確認などを目的として、内部監査を実施しております。

2022年度の主な監査活動

- ・ 全社統制、IT (情報技術) 統制、業務プロセス 監査 : [5 3 拠点]
- ・ 子会社監査 : ビジネスピープル株式会社、株式会社スーパージャンボ、KIMURA,INC.、天津木村進和物流有限公司、広州広汽木村進和倉庫有限公司
- ・ 日常業務監査 : [5 8 拠点]、特定業務監査 [4 拠点]

コンプライアンスの徹底

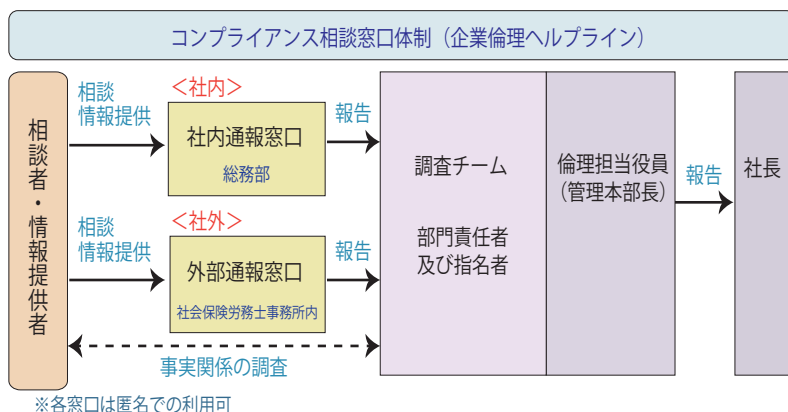


企業のグローバル展開、行政による規制緩和の進展、雇用形態の多様化など、当社を取り巻く環境が著しく変化する中、法令遵守・企業倫理の徹底は企業活動を行う上での根幹であると認識しております。

幹部社員等を対象とした「コンプライアンス研修」や現場で実施する個別研修資料の展開などにより、意思統一と当社グループ内での法令遵守の周知徹底を図っております。ハラスメントなど様々な労務問題の発生を未然に防止するための知識や意識の向上に努めるとともに、「こんぷらサポート便」や「人事労務サポート便」などによる情報展開を継続的に実施し、労務に関する規程やルールの周知徹底を図っております。

相談窓口体制

コンプライアンス相談窓口として「企業倫理ヘルプライン」を設け違法・反倫理的行為の早期発見と抑制に努めております。



こんぷら、人事労務サポート便

事例に基づく解説を定期的に配信しております。



2022年度 全社「お知らせ・通達」より抜粋

リスクマネジメント

リスクマネジメントへの取り組み



激変する経営環境の中で、企業（グループ）価値、株主価値及び顧客価値を最大化する為には、取り巻く環境を適時適切に認識し、様々なリスクに対して的確に対応することが重要と考えております。

当社グループでは、業態の改革、海外を含む新たな拠点の設置、大型の設備投資、他社とのアライアンスなど、経営上重要な意思決定に関するリスクに対して、関係部門でのリスク分析及び対策検討を行うと共に、必要に応じて外部の関係機関より助言等も受けております。また、品質クレームや職場災害などの事業遂行に関するリスクについては、専任部署及び各部門のスタッフが日常におけるリスク管理に取り組んでおります。

BCP（事業継続計画）への取り組み



大規模地震や津波等の自然災害や事故などにより、当社の施設あるいはお客様や取引先様の拠点が被災して事業活動が困難な状況にあっても、商品の供給・サービスの提供に向けて早期の復旧を図り、全てのステークホルダーの利益を守っていくことを目的として、全事業部のBCP（事業継続計画）行動計画書を策定いたしました。

策定したBCPの初期対応についての有効性を検証するためのBCP机上訓練の実施や、明確化された改善点の対応を進めると共に、活動の定着とレベルアップを図る為に「震災対応マニュアル」（各種手順書を含む）などの全面的な見直しと全社展開を実施しております。



災害発生時の対応や防災に関する様々な活動への認識をより深めることを目的として、社内報に掲載コーナーを常時設定し、全ての社員に向けた情報発信を積極的に推進しております。

社内報に連載の防災に関する情報ページ
(2022年度社内報より抜粋)

情報セキュリティ強化への取り組み



情報サービス事業にて、国際規格 ISO27001（ISMS）の認証を取得し、お客様の重要な情報や個人情報及び組織が保有する様々な情報資産の「機密性・完全性・可用性」を維持し、情報セキュリティリスクを管理する「マネジメント・システム」の継続的な維持運用に努めております。また、社内においては各部門毎に「管理」「PC購入」「導入ソフト標準」など、全22項目に亘って、情報セキュリティルールの理解度や徹底状況についての確認を行い、改善事項を明確にししながら、着実な情報セキュリティレベルの向上に取り組んでおります。

管理項目	NO	区分	質問事項	項目	運用チェックポイント
基本規程	1	管理	情報セキュリティ基本規程と21の運用規程がNotesの社内業務から確認できますが、部門責任者、部門担当者の役割を理解していますか	①	情報セキュリティ部門責任者（責任者）は自部門の情報セキュリティの維持管理を擔する責任を負い、情報セキュリティに問題が発生した場合や見直しが必要となった場合は速やかに情報セキュリティ委員会に報告しなければなりません
				②	情報セキュリティ部門担当者（責任者の任命者）は担当部門内における情報セキュリティ推進及び情報の取集担当であり、収集した情報は情報セキュリティ部門責任者（責任者）へ報告しなければなりません
PC利用	2	PC購入	PCを購入する場合は、OA機器見積り依頼書にて情報システム課に申請しますが、PCの買い替え基準は正しく認識していますか	①	標準品（標準製品リストで定められた）PCを購入・導入しなければなりません
				②	標準外のPCを購入する場合は、特別な事情がない限り購入することは出来ません。（お客様都合にて機種指定が必要な場合、システム開発機器等が該当する）

情報セキュリティルールの確認チェック項目（抜粋）

No	区分	関連資料名	確認事項
5	PC基本設定	スクリーンセーバーパスワードロック確認表	スクリーンセーバーパスワードロックがされている （※事前調査資料を元に確認） スクリーンセーバー待ち時間の設定が90分未満になっている （※事前調査資料を元に確認） ノートPCにワイヤードロックがされている
		-	-
6	パスワード設定	-	Windows及びNotesパスワードがルール通りになっている（業務担当者も5文字以上） （※抜打ちで数台確認） PC周辺に「OSやWindowsのパスワードが貼られていない
8	廃棄手順（廃棄処理）	-	廃棄予定PCの保管状況 キャビネットなどに施設をして保管されている
13	固体PC	PC管理状況一覧表	固体PCの保管状況 キャビネットなどに施設をして保管されている
14	データ保持	-	ファイルサーバ、データバックアップ（データの保管）確認 重要なファイルがサーバで管理されている
18	外部記憶媒体、後援利用	USBメモリ利用状況一覧表	USBメモリの保管状況 施設をして保管されている
		-	USBメモリの管理状況 管理表にて毎日、所在チェックをしている USBメモリのデータ管理状況 漏洩時にデータが削除されている
認知	社内	社内	A. 保管場所により B. 誰が何処へ持ち出しているか明確になっている
			社内

職場内確認表（抜粋）